

震災30年事業キックオフシンポジウムの開催

阪神・淡路大震災から30年の節目を迎えるにあたり、震災の経験と教訓を広く国内外に繋いでいくため、令和6年11月～令和7年10月に各団体の独自事業とも幅広く連携して、震災30年事業を展開する。事業開始に先立ち、県・地元自治体および経済団体が中心となり、県民・企業・関係機関・団体などが参画するキックオフシンポジウムを開催する。

シンポジウム概要

○日 時：令和6年6月14日（金）15:00～16:45

○会 場：神戸メリケンパークオリエンタルホテル

○テ ー マ：～創造的復興を未来に繋ぐ新たなチャレンジに向けて～

- ・基調講演 兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 阪本 真由美 教授
兵庫県立大学 環境人間学部 木村 玲欧 教授

・トークセッション

（パネリスト）齋藤知事、久元神戸市長、
川崎兵庫県商工会議所連合会会頭（神戸商工会議所会頭）、
木村兵庫県立大学教授

（モデレーター）阪本兵庫県立大学大学院教授

○主 催：ひょうご安全の日推進県民会議

○申込期間：5月22日（水）～6月13日（木）

○参加方法：県ホームページから事前申し込み（定員100名）

URL：<https://forms.office.com/r/XhdCLycRBj?origin=lprLink>



参考：阪神・淡路大震災30年事業 事業コンセプト ～震災の教訓をともに未来に繋ぐ～

阪神・淡路大震災から30年の節目を迎えるにあたり、これまでの「忘れない」「伝える」「活かす」「備える」に「**繋ぐ**」を加えた基本コンセプトのもと、県民、関係機関・団体等と連携して、ひょうご安全の日のつどいや30年記念事業を展開

忘れない

伝える

活かす

備える

繋ぐ

「**繋ぐ**」：震災の経験と教訓を「世代」「地域」を超え、広く継承・共有していく

施策体系

1

ひょうご安全の日のつどい
追悼と誓いの場

2

記念事業
災害文化の醸成を目指した活動

3

広報事業
震災30年の機運を盛り上げる活動

4

助成事業
県民による主体的な防災・減災活動



阪神・淡路大震災30年

推進主体

ひょうご安全の日推進県民会議

- ・会 長：知事
- ・構成員：133団体・個人

実施期間 2024.11～2025.10（1年間）

